

7月31日オープンキャンパス 本日の模擬授業

	HJ棟		その他の教室
	J棟4階 J401教室	H棟4階 H404教室	
	心理教育学科 子ども教育専修	現代社会学科	
11:15 ～ 12:00	子どもの自然認識と理科授業 中田 朝夫先生 子どもたちは、日常生活や学校生活の経験から、自然現象の仕組みや関係性などについて、少なからず自分なりの見方や考え方を持っています。 一方、学校の理科授業では、科学的用語、記号、数式、実験・観察器具といった難しそうなイメージの内容が扱われます。 このような子どもたちが理科授業に臨む場で、教師は授業づくりに関してどのような配慮が必要なのでしょう。一緒に考えていきましょう。	オリンピックの社会学 中力 えり先生 ブラジルのリオデジャネイロで開催される第31回オリンピック競技大会。 間もなく開幕し、数々の熱戦が繰り広げられることが期待されています。 そのオリンピックを少し別の角度からみてみると、何がみえてくるのでしょうか。 オリンピックの歴史を振り返りながら、社会の変化についてみていくとともに、「国」や「国籍」とは何かについて考えていきます。	
12:15 ～ 13:00	デヴィッド・ボウイにおける(ロック/スター)神話の解体 上野 俊哉先生 この一月に亡くなったロックミュージシャンのデヴィッド・ボウイについて研究するとしたら、どんなアプローチが可能だろうか？実際に彼の新旧の楽曲をDJミックスしたり、最後のビデオ・クリップを視聴しながら、ボウイの音楽と文学、美術、政治、神話、思想、ファッション…… などとの横断的な結びつきを体感しながら、大学で「学び逸れる」きっかけにふれてみたい。	心理教育学科 子ども教育専修 保育コース 幼児の心を考える 常田 秀子先生 子どもたちのままごとのビデオを見ながら、子どものコミュニケーションの育ちや、ままごとを遊ぶ意味などについて考えましょう。 ちょっとした遊びの中で、子どもたちが自分の持てる力をフルに発揮していることがわかると思います。	
13:15 ～ 14:00	経済学科 ボルネオ島のジャングルで暮らしてみる-人は自然に生かされている- 加藤 巖先生 ボルネオ島(マレーシア領)は豊かな自然の宝庫です。熱帯雨林の森に入ると、野生のゾウやテナグザルに出会うこともあります。 人々の暮らしも多様です。大きな街がある一方、いまだにジャングルで狩猟生活を送る人々もいます。山間の農村で自給自足の暮らしを送る民族もいます。 かつて、和光生たちが小さな村を訪れました。村には何もありません。でも、面白くて豊かな暮らしと力強い人々の結びつきが息づいています。和光生たちの体験を映像も交えてお話しします。	身体環境共生学科 子どもの時期にはいつ、どのような運動が必要か 矢田 秀昭先生 体力は、およそ20歳代でピークを迎え、それ以降は徐々に低下して行きます。この体力が発育・発達する期間を発育期といいます。この期間に、さまざまな運動を習得し、筋力や持久力を身につける必要があります。しかし、この期間の発育・発達の仕事は一律ではありません。授業では、発育期の身体機能の発達特性とこの時期に行なうべき運動・スポーツの特徴について説明します。	
14:15 ～ 15:00	経営学科 開幕直前！オリンピックを100倍楽しむ方法-オリンピック・ビジネスの舞台裏- 原田 尚幸先生 世界中の人々が注目するオリンピック大会は、ビジネスにおいても4年に一度のビッグチャンスです。オリンピック大会期間中は、競技結果に注目が集まりますが、その理念やオリンピックビジネスの舞台裏については、あまり知られていません。今回の模擬授業では、スポーツビジネスの視点から知っておくべき知識や情報をご紹介します。きっとオリンピックの見方が変わりますよ！	心理教育学科 心理学専修 心的外傷と「思いやり」の心理 菅野 恵先生 心にたくさん傷がつくとどうなってしまうのでしょうか。他人を思いやるとはどういうことでしょうか。今回は、トラウマの概念を紹介しながら心的外傷の理解を進めます。そして、自分の心を守るための一つの方法として、アサーションスキルを取り上げます。相手の心を傷つけないことと同時に、自分の気持ちを適切に伝えるための思いやりのコミュニケーションを学びましょう！	1日の中に、朝昼夕夜のイメージが。 1週間の中に、月～日のイメージが。 1年の中に、春夏秋冬のイメージがあるように、時の流れのイメージをコラージュの技法を通して表現して、あなたの想定した、イメージ時計を制作してみましょう。